

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：4月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●5月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、4月の訪日外客総数(推計値)は304万2,900人であった。桜の開花シーズンの影響もあり、2カ月連続で300万人超の水準となった(前月：308万1,600人)。2019年同月比では+4.0%と3カ月連続でコロナ禍前を超えた(前月：同+11.6%)。なお、中国人客を除いた総数は250万9,300人(同+14.0%)で、10カ月連続でコロナ禍前上回った。一方、同月の出国日本人数は88万8,800人であった。19年同月比では-46.7%と前月(同-36.8%)からマイナス幅は拡大した。

▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると(図2及び表4)、4月は韓国が66万1,200人(2019年同月比+16.7%)と最多であった。次いで中国が53万3,600人(同-26.5%)、台湾が45万9,700人(同+13.9%)、米国が22万8,900人(同+34.5%)、香港が18万4,500人(同-5.3%)と続く。なお、4月はフランス、イタリア、中東地域が単月として過去最高値を更新した。

▶目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(図3及び表5)、2月は278万8,224人となった(2019年同月比+7.1%)。うち、観光客は254万8,085人と5カ月連続で200万人を超える水準となった(同+8.8%)。商用客は8万3,836人(同-35.8%)、その他客は15万6,303人(同+18.1%)であった。19年同月比でみると、観光客は5カ月連続、その他客は2カ月連続でそれぞれプラスとなったが、商用客は依然低迷している。

▶観光客のTOP5を国・地域別にみれば(表5)、2月は韓国が79万2,173人(2019年同月比+17.4%)と最多であった。次いで台湾が48万9,092人(同+27.4%)、中国が39万2,159人(同-39.5%)、香港が20万2,534人(同+15.5%)、米国が13万6,225人(同+88.0%)と続く。なお、2月は台湾が単月として過去最高値を更新した。

▶先行きの訪日外客については引き続き堅調に推移すると見込まれる。国際旅客便の回復に加え、円安基調が続いていることもあり、1-4月累計の訪日外客数は1,160万1,200人となった。第4次観光立国推進基本計画で、政府は2025年までに訪日外客数をコロナ禍前の水準(3,188万人)超とする目標を設定している。ちなみに1-3月期の訪日外客数は年率ベースで3,423万人となっており、増加ペースを維持することができれば、本年中に目標を達成する可能性が高い。

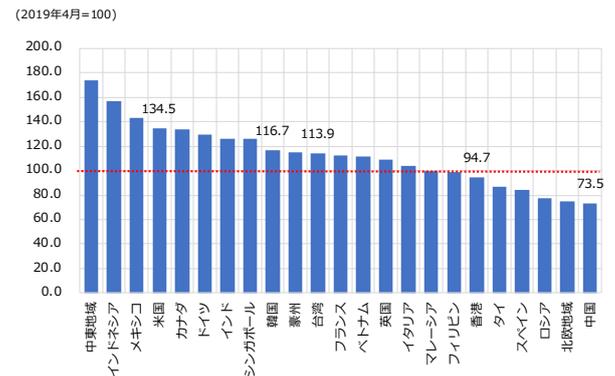
図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 2022年まで確定値、23年、24年1-2月は暫定値、24年3-4月は推計値

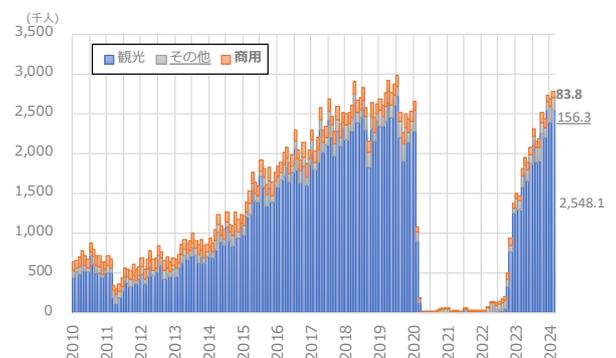
図2 国・地域別コロナ禍前との水準比較：24年4月



出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。

注)なお、TOP5の国・地域は値を表示している。

図3 目的別訪日外客数推移



出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から2カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

トピックス 1

● 4月関西の財貨・サービス貿易及び3月のサービス産業動向

▶ 関西 4月の輸出額は前年同月比-1.8%と2カ月ぶりの減少(前月:同+1.5%)。一方、輸入額は同+1.4%と2カ月ぶりの増加となった(前月:同-13.6%)。結果、**関西の貿易収支は+1,902億円と3カ月連続の黒字だが(図4)、黒字幅は同-22.2%縮小した(前月:同+95.2%)。**

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、**関西4月の対中輸出は前年同月比+5.5%と2カ月連続で増加した(前月:同+1.9%)。**輸出増に寄与したのは半導体等製造装置やプラスチック等であった。また、**対中輸入は同+5.8%と2カ月ぶりの増加(前月:同-21.7%)。**輸入増に寄与したのは衣類及び同附属品や通信機等であった。

▶ **4月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は77万2,860人となり、過去最高値を更新した(図6)。**2019年同月比では+1.1%と5カ月連続のプラス(前月:同+6.4%)。外国人入国者数は堅調に推移している。また、4月の日本人出国者数は15万8,125人であった。2019年同月比では-53.2%と、減少幅は前月(同-40.0%)から拡大した。**外国人入国者数に比して日本人出国者数は依然低調である。**

▶ **3月のサービス業の活動は対面型サービス業を中心に悪化した(図7)。**サービス業の生産活動を示す**第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)**をみれば、3月は100.2で前月比-2.4%低下し、**2カ月ぶりのマイナス**となった(前月:同+2.2%)。また、**対面型サービス業指数***は90.2で同-10.3%大幅低下し、**2カ月ぶりのマイナス**(前月:同+4.0%)。うち、運輸業(同-14.7%、2カ月ぶり)とその他の生活関連サービス業(同-13.9%、2カ月ぶり)が大幅低下に寄与した。結果、**1-3月期の第3次産業活動指数は前期比+0.2%と2四半期ぶりのプラスだが、小幅上昇にとどまった(10-12月期:同-0.5%)。**一方、**対面型サービス業は同-0.6%と2四半期連続のマイナス**となった(10-12月期:同-0.6%)。

▶ **観光関連指数****(2015年平均=100)は、90.6と前月比-6.1%低下し、**4カ月ぶりのマイナス**(前月:同+4.0%)。うち、**旅行業**(同-52.5%、4カ月ぶり)、**旅客運送業**(同-5.7%、2カ月ぶり)等が低下に寄与した。**1-3月期の観光関連指数は前期比+1.5%と2四半期ぶりのプラス**となった(10-12月期:同-0.0%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

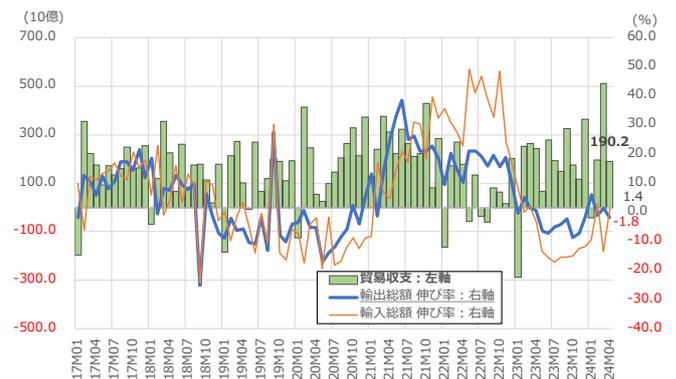
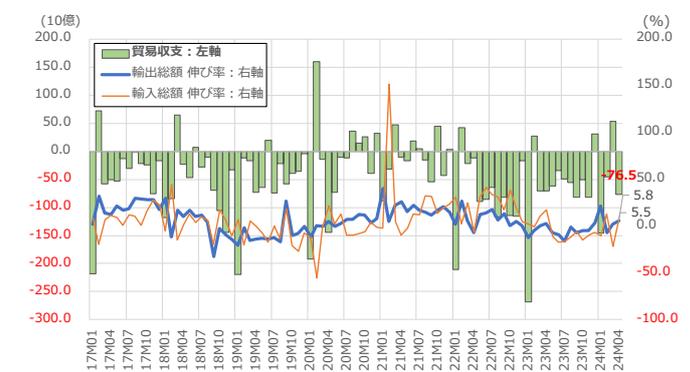
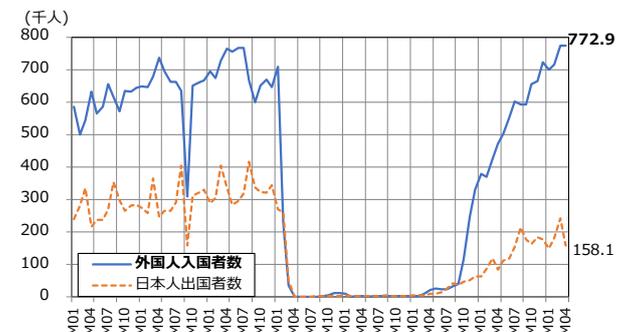


図5 関西 対中貿易の推移



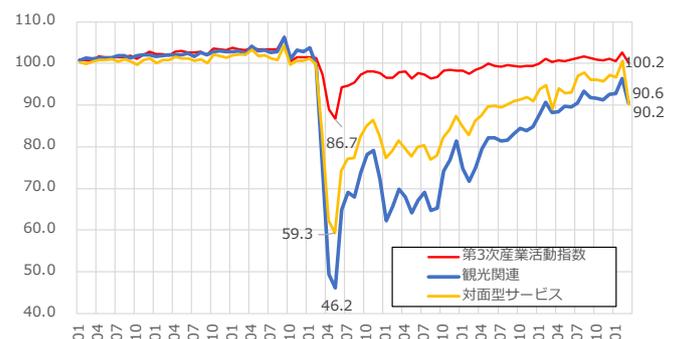
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2024年4月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

● 2月延べ宿泊者数の動向：関西 2府 8 県

▶観光庁によれば、2月の関西 2府 8 県の延べ宿泊者数(全体)は 9,352.4 千人泊であった(表 1)。2019 年同月比では +7.9%と 6 カ月連続で増加した(前月：同+7.5%)。

▶日本人延べ宿泊者数は 6,574.0 千人泊となった。2019 年同月比+5.3%と 6 カ月連続で増加した(前月：同+3.5%)(表 1 及び図 8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 2,384.1 千人泊、京都府 1,240.7 千人泊、兵庫県 1,042.6 千人泊、三重県 640.2 千人泊、和歌山県 301.1 千人泊、滋賀県 281.9 千人泊、福井県 210.2 千人泊、鳥取県 172.4 千人泊、徳島県 156.6 千人泊、奈良県 144.4 千人泊であった。2019 年同月比でみると、京都府(同-3.6%)と福井県(同-26.2%)を除く府県ではプラスとなった。

▶外国人延べ宿泊者数は 2,778.4 千人泊となった。2019 年同月比+14.5%と 7 カ月連続のプラス。増加幅は前月(同+17.7%)から縮小したものの、6 カ月連続で 2 桁の伸びが続いている(表 1 及び図 9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 1,698.6 千人泊、京都府 864.5 千人泊、兵庫県 105.6 千人泊、和歌山県 27.5 千人泊、滋賀県 23.7 千人泊、奈良県 20.0 千人泊、三重県 14.9 千人泊、鳥取県 9.8 千人泊、徳島県 8.8 千人泊、福井県 5.2 千人泊であった。2019 年同月比でみると、大阪府(同+22.5%)と京都府(同+16.2%)がいずれも 8 カ月連続で増加したものの、その他の県では減少傾向が続いている。

▶関西 2府 8 県延べ宿泊者を居住地別でみると(図 10)、県内の延べ宿泊者数は 1,206.6 千人泊、県外は 7,837.2 千人泊であった。2019 年同月比では県内は同+6.6%と 29 カ月連続のプラスだが、増加幅は 4 カ月連続で縮小。また、県外(含む外国人)は同+10.0%と 6 カ月連続のプラスとなり、増加幅は前月(同+9.2%)から小幅拡大した。

図 8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

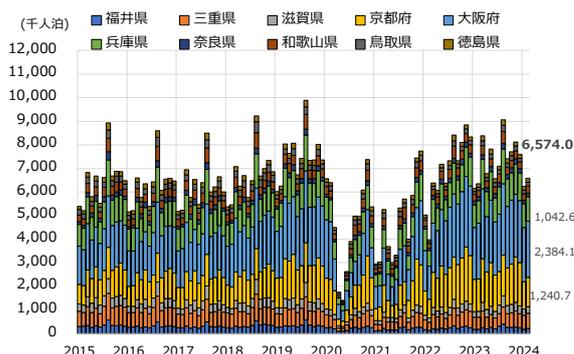


図 9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

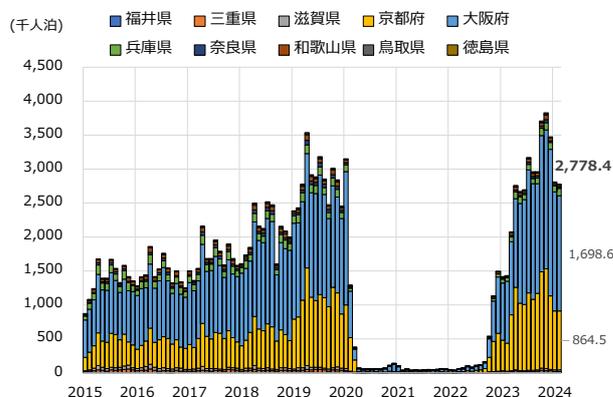
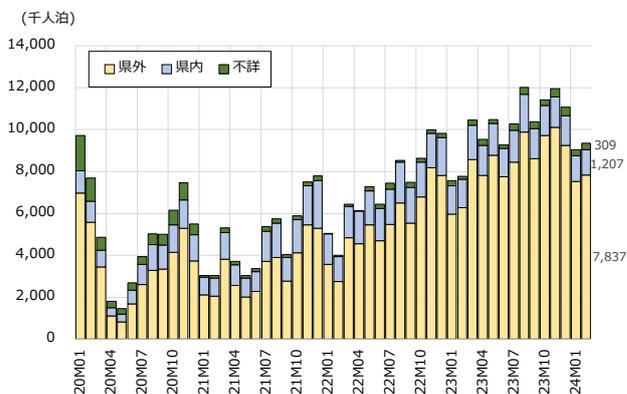


図 10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表 1 関西 延べ宿泊者数伸び率：2月

2024年2月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 当月(%)	19年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 当月(%)	19年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 当月(%)	19年比伸び率： 前月(%)
福井県	215.3	-26.9	-32.8	210.2	-26.2	-33.5	5.2	-47.0	-5.4
三重県	655.0	14.7	3.7	640.2	18.0	5.0	14.9	-47.6	-31.5
滋賀県	305.5	0.4	0.8	281.9	6.1	2.7	23.7	-38.8	-17.5
京都府	2,105.2	3.7	1.1	1,240.7	-3.6	-8.3	864.5	16.2	17.2
大阪府	4,082.7	14.7	19.6	2,384.1	9.7	16.2	1,698.6	22.5	24.4
兵庫県	1,148.2	4.5	4.2	1,042.6	6.8	6.3	105.6	-14.3	-14.6
奈良県	164.4	14.8	10.2	144.4	29.4	22.9	20.0	-36.8	-40.7
和歌山県	328.5	-0.5	-10.2	301.1	2.8	-10.2	27.5	-26.5	-9.9
鳥取県	182.2	0.9	-9.1	172.4	6.2	-5.8	9.8	-46.3	-46.3
徳島県	165.4	4.9	1.2	156.6	5.2	1.6	8.8	-0.5	-9.3
関西2府4県	8,134.5	8.9	9.9	5,394.7	5.7	5.7	2,739.8	16.0	18.7
関西2府8県	9,352.4	7.9	7.5	6,574.0	5.3	3.5	2,778.4	14.5	17.7
全国	47,848.4	9.9	6.9	36,331.1	6.0	2.8	11,517.4	24.2	22.0

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」(図 8~10 及び表 1)より筆者作成

トピックス 3

● 2024年1-3月期国内旅行消費の動向：関西2府8県*

▶観光庁によれば、2024年1-3月期関西(2府8県ベース)の国内旅行消費額(速報)は1兆350億円であった(表2)。2019年同期比+27.7%と2四半期連続のプラス(10-12月期：同+13.6%)。新型コロナ5類移行後、初めての年始休暇の影響もあり、宿泊旅行消費、日帰り旅行消費ともに増加した。

▶国内旅行消費額のうち、1-3月期の宿泊旅行消費額は8,158億円で2019年同期比+37.4%となり、3四半期連続のプラス(10-12月期：同+23.0%)(図11及び表2)。府県別に消費額を降順にみれば、大阪府2,734億円(同+59.4%)、京都府1,645億円(同+48.6%)、兵庫県1,140億円(同-8.2%)、三重県917億円(同+52.7%)、福井県454億円(同+324.3%)、奈良県375億円(同+138.5%)、和歌山県357億円(同+59.3%)、滋賀県272億円(同+35.0%)、鳥取県211億円(同-32.1%)、徳島県52億円(同-80.9%)であった。19年同期比でみると、兵庫県、鳥取県と徳島県を除く府県でプラスとなり、大阪府と京都府が宿泊旅行消費額の増加に大きく寄与した。

▶国内旅行消費額のうち、1-3月期の日帰り旅行消費額は2,193億円であった。2019年同期比+1.2%とプラスに転じた(10-12月期：-14.0%)(図12及び表2)。府県別に消費額を降順にみれば、大阪府688億円(同+26.0%)、兵庫県483億円(同-4.1%)、京都府392億円(同-20.8%)、三重県227億円(同-9.3%)、滋賀県177億円(同+18.1%)、徳島県72億円(同+148.7%)、福井県59億円(同+41.3%)、奈良県56億円(同-18.1%)、和歌山県30億円(同-34.2%)、鳥取県9億円(同-75.9%)であった。19年同期比でみると、大阪府、滋賀県、福井県と徳島県がプラスとなった。

*トピックス3は四半期ごとの掲載である。

図11 関西2府8県 宿泊旅行消費額の推移

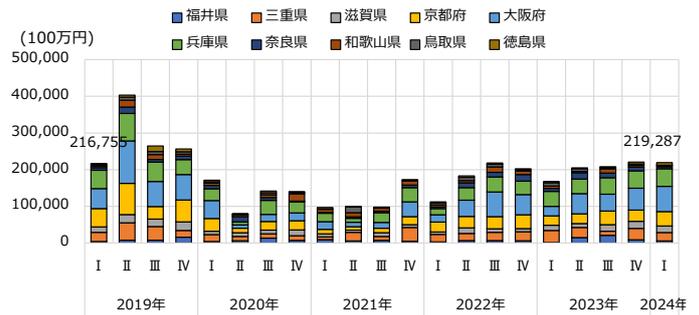
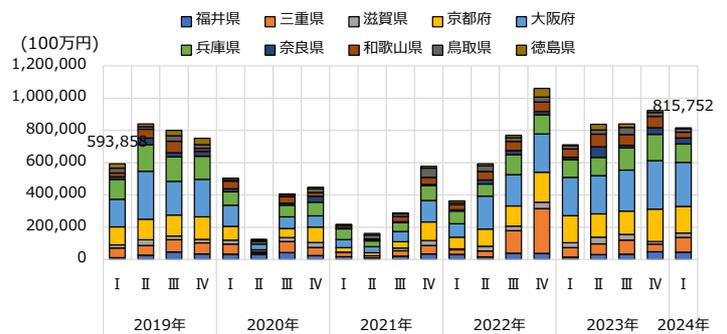


図12 関西2府8県 日帰り旅行消費額の推移



(注) 宿泊旅行、日帰り旅行ともに、観光・レクリエーション目的以外に帰省・知人訪問等、出張・業務目的を含む。
2023年までは確報。24年1-3月期は速報(上図も同様)。
出所：観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表2 関西 国内旅行消費額：2024年1-3月期

	国内旅行消費額			宿泊旅行消費額			日帰り旅行消費額		
	金額： 100万円	19年比伸び率： 1-3月期(%)	19年比伸び率： 10-12月期(%)	金額： 100万円	19年比伸び率： 1-3月期(%)	19年比伸び率： 10-12月期(%)	金額： 100万円	19年比伸び率： 1-3月期(%)	19年比伸び率： 10-12月期(%)
福井県	51,303	245.2	11.9	45,438	324.3	38.4	5,865	41.3	-44.8
三重県	114,427	34.5	-9.2	91,711	52.7	-30.4	22,716	-9.3	70.9
滋賀県	44,927	27.8	-22.1	27,186	35.0	-28.2	17,741	18.1	-16.2
京都府	203,723	27.2	16.4	164,507	48.6	44.6	39,216	-20.8	-49.0
大阪府	342,195	51.3	19.6	273,422	59.4	29.8	68,773	26.0	-14.3
兵庫県	162,268	-7.0	14.0	114,007	-8.2	12.9	48,262	-4.1	17.5
奈良県	43,044	91.1	30.3	37,460	138.5	39.1	5,584	-18.1	3.3
和歌山県	38,665	43.6	220.4	35,690	59.3	281.0	2,975	-34.2	-6.4
鳥取県	22,056	-37.0	-9.7	21,122	-32.1	-0.2	934	-75.9	-42.2
徳島県	12,430	-58.8	-61.4	5,209	-80.9	-66.6	7,221	148.7	-34.8
関西2府8県	1,035,039	27.7	13.6	815,752	37.4	23.0	219,287	1.2	-14.0

出所：観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表4 2024年4月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2024年	伸率(%)	2019年	2024年	伸率(%)
	4月	4月		1-4月	1-4月	
総数	2,926,685	3,042,900	4.0	10,980,482	11,601,200	5.7
総数(中国除く)	2,200,553	2,509,300	14.0	8,085,033	9,739,600	20.5
韓国	566,624	661,200	16.7	2,647,397	2,999,900	13.3
中国	726,132	533,600	-26.5	2,895,449	1,861,600	-35.7
台湾	403,467	459,700	13.9	1,593,227	1,938,600	21.7
香港	194,806	184,500	-5.3	699,852	808,100	15.5
タイ	164,817	142,500	-13.5	512,754	466,200	-9.1
シンガポール	36,704	46,300	26.1	129,169	178,400	38.1
マレーシア	46,092	46,000	-0.2	164,766	180,200	9.4
インドネシア	39,768	62,500	57.2	136,476	179,400	31.5
フィリピン	69,266	68,500	-1.1	188,700	269,300	42.7
ベトナム	55,295	61,600	11.4	177,928	233,800	31.4
インド	18,376	23,200	26.3	57,667	73,000	26.6
豪州	70,504	80,800	14.6	243,400	333,700	37.1
米国	170,247	228,900	34.5	542,671	799,600	47.3
カナダ	38,897	52,100	33.9	123,032	175,500	42.6
メキシコ	8,222	11,800	43.5	20,466	41,800	104.2
英国	44,537	48,400	8.7	128,255	150,500	17.3
フランス	46,005	51,600	12.2	108,130	123,000	13.8
ドイツ	27,829	36,000	29.4	81,230	108,900	34.1
イタリア	24,062	24,900	3.5	50,948	63,700	25.0
スペイン	13,858	11,700	-15.6	31,689	39,600	25.0
ロシア	13,787	10,700	-22.4	37,405	27,400	-26.7
北欧地域	17,277	13,000	-24.8	48,323	47,500	-1.7
中東地域	13,352	23,200	73.8	32,644	47,200	44.6
その他	116,761	160,200	37.2	328,904	454,300	38.1

表5 2024年2月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2024年	伸率(%)	2019年	2024年	伸率(%)	2019年	2024年	伸率(%)	2019年	2024年	伸率(%)
	2月	2月		2月	2月		2月	2月		2月		
総数	2,604,322	2,788,224	7.1	2,341,479	2,548,085	8.8	130,544	83,836	-35.8	132,299	156,303	18.1
韓国	715,804	818,562	14.4	675,023	792,173	17.4	26,801	14,797	-44.8	13,980	11,592	-17.1
中国	723,617	459,463	-36.5	647,740	392,159	-39.5	25,092	17,107	-31.8	50,785	50,197	-1.2
台湾	399,829	502,237	25.6	383,849	489,092	27.4	8,421	6,577	-21.9	7,559	6,568	-13.1
香港	179,324	205,884	14.8	175,381	202,534	15.5	2,771	1,629	-41.2	1,172	1,721	46.8
タイ	107,845	101,443	-5.9	103,045	97,764	-5.1	2,865	1,757	-38.7	1,935	1,922	-0.7
シンガポール	26,102	36,915	41.4	23,008	34,891	51.6	2,564	1,585	-38.2	530	439	-17.2
マレーシア	36,660	60,178	64.2	33,488	57,878	72.8	1,917	1,128	-41.2	1,255	1,172	-6.6
インドネシア	24,622	38,246	55.3	20,064	30,399	51.5	1,875	1,101	-41.3	2,683	6,746	151.4
フィリピン	35,170	65,217	85.4	29,567	56,706	91.8	2,063	4,419	114.2	3,540	4,092	15.6
ベトナム	39,377	60,181	52.8	9,839	12,974	31.9	2,489	2,102	-15.5	27,049	45,105	66.8
インド	9,071	9,965	9.9	2,321	4,244	82.9	4,425	3,004	-32.1	2,325	2,717	16.9
豪州	47,658	66,501	39.5	44,353	64,289	44.9	2,495	1,588	-36.4	810	624	-23.0
米国	92,669	148,719	60.5	72,454	136,225	88.0	16,533	9,262	-44.0	3,682	3,232	-12.2
カナダ	23,883	33,895	41.9	21,539	32,565	51.2	1,673	825	-50.7	671	505	-24.7
メキシコ	2,889	7,684	166.0	2,394	7,356	207.3	363	178	-51.0	132	150	13.6
英国	23,554	25,877	9.9	18,220	22,511	23.6	4,294	2,491	-42.0	1,040	875	-15.9
フランス	17,397	22,268	28.0	12,982	19,449	49.8	3,320	1,723	-48.1	1,095	1,096	0.1
ドイツ	13,384	14,862	11.0	7,946	11,864	49.3	4,676	2,425	-48.1	762	573	-24.8
イタリア	5,897	7,555	28.1	3,813	6,240	63.7	1,780	1,006	-43.5	304	309	1.6
ロシア	5,601	2,907	-48.1	3,777	2,209	-41.5	1,333	416	-68.8	491	282	-42.6
スペイン	4,533	6,323	39.5	3,541	5,616	58.6	697	460	-34.0	295	247	-16.3
中東地域	3,630	6,224	71.5	2,493	5,448	118.5	809	525	-35.1	328	251	-23.5
その他	65,806	87,118	32.4	44,642	63,499	42.2	11,288	7,731	-31.5	9,876	15,888	60.9

注) 目的別訪日外客数の定義については、図3注参照。

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2024年5月15日付より筆者加工